

町では初開催！

第20回 ちば県人形劇まつり in 多古 8月23日(日)

大盛況
だったわ！



2年ごとに千葉県内で開催されている「ちば県人形劇まつり」。記念すべき20回目が町コミュニティプラザで開催されました。

イベントでは、子どもたちや地域の方が人形劇を通じて文化芸術に親しんでもらうため、パネルシアターや影絵のほか、けん玉やこま、ピタゴラスイッチで自由に遊べるコーナーなど、幅広い内容のプログラムが用意されていました。

小さな舞台での上演だからこそ、人形劇をより身近に感じることができ、楽しさが一層引き立ちました。中には観客も一緒に参加できる劇もあり、毎回どんな展開になるのかワクワクが止まらない物語ばかりでした。

参加された皆さんにとって、文化芸術に触れることができた貴重な時間となりました。



▲子どもから大人まで劇に夢中



▲シンプルだからこそ奥深いけん玉に挑戦！



▲人形などを通じて小さな舞台から繰り広げられる物語の世界



▶大きなこまを巧みに回してパフォーマンスを披露！

交流と挑戦が生まれる場所

コミュニティスペース「えんがわ」オープン！ 8月31日(月)



活気あふれる
場所になって
ほしいわ！



▲座る場所の高さを変え、子どもから高齢者まで思いの席に座れる「えんがわ」の店内

この事業は協力隊の皆さんにとって、任期を終えた後も多古町で暮らすための、生業づくりの第一歩でもあります。

店内は、ほかの協力隊員や地元の方の協力で出来上がりました。譲り受けた椅子や座卓を活用し、思い思いに過ごせる空間となっています。

買い物や仕事の帰りに、のぞいてみてはいかがでしょうか。



▲「えんがわ」をオープンした協力隊員3人。(左から)笠川さん、小倉さん、加藤さん

頭の体操で健康長寿！

8月8日(土)

5つの「八」がそろった日 ～「川柳会」が迎えた第8回目の節目～

令和8年4月10日に設立した「川柳会」は8月8日に第8回目の開催を迎え、現在8人の会員が活動しています。

今回、縁起の良い数字である「八」が5つもそろった記念すべき日ということで、取材をしました。

皆さんは毎月第2土曜日に多古町魅力発信交流館(たこらぼ)で活動しており、お題に対して句を作成しています。

川柳の先生である千葉県川柳作家連盟 名雪凛々 会長は「川柳は言葉遊びを通じた頭の体操になり、言葉の背景に隠れた状況を想像することで、物事の見方を広げることができます。また、世代を問わず身近なものを題材に自由に表現でき、作品が完成したときの達成感や、他の作品から学ぶことでお互いに成長できるのも、魅力の一つです」と語ってくれました。興味のある方は、ぜひ見学にお越しください。



▲「川柳会」の会員の皆さん(取材時)



▲活動している皆さんの様子



▲お題に対して作成された皆さんの作品

きれいな音を響かせて♪

8月8日(土)

フルート体験ワークショップ

町コミュニティプラザ文化ホールで、フルート体験ワークショップが開催されました。当日は、講師をはじめ、フルート演奏者の方々にも教えていただきました。参加者は、息の吐き方や指使いなど、講師の説明に耳を傾けていました。初めてフルートに触れた参加者は、最初は音が出ませんでした。講師の方々に丁寧に教えてもらったことで、徐々にきれいな音が出るようになりました。その後、全員で「チューリップ」の合奏を行い、ワークショップの最後には、講師から演奏と「ファイフ」と呼ばれる楽器がプレゼントされました。

皆さんも、さまざまなイベントに参加し、初めてのものに触れてみるのはいかがでしょうか。



▲参加者へ「ファイフ」をプレゼント！



▲講師の方々に丁寧に教えてもらいました



▲講師から演奏のプレゼント！

みんなで楽しくからだを動かそう！

8月19日(水)

多古町キッズからだあそび教室

多古町民体育館で「多古町キッズからだあそび教室」が開催されました。全4回のうち3回目となる今回は、町内の小学校に通う1年生から3年生の32人が参加しました。

音楽に合わせた準備運動で体をほぐした後、リズムに合わせてジャンプやステップを繰り返す「リズムジャンプ」に挑戦しました。

「転がしドッジボール」などのボール遊びや、チームに分かれて相手の陣地にあるコーンを取り合う「スポーツ鬼ごっこ」にもチャレンジし、学校や学年の異なる友達と一緒に、元気いっぱい体を動かしました。



▲リズムに合わせて、軽快にステップ！



▲みんなで楽しくボール遊び！



▲転がしドッジボールに挑戦！



▲やったね！コーンをゲット♪